

第 54 回 Society of Toxicology (SOT) 学術年会派遣報告① － Continuing Education Course 教育コースに参加して －

株式会社ヤクルト本社 中央研究所 鈴木 倫



日本毒性学会教育委員会が企画する SOT 派遣事業の一環として、第 54 回 SOT 学術年会の教育コース「Safety Evaluation of CNS Administered Therapeutics - Study Design, Dose Routes, and Data Interpretation」および「Skeletal System Endocrinology and Toxicology」を受講させていただきました。

CNS のコースでは、中枢神経系の組織学・生理学の概要、幼若非ヒト霊長類における脳脊髄液採取に関する事例、中枢神経実質への薬物送達、中枢投与における脳の病理組織学的評価、非臨床試験データの臨床への外挿について講演が行われました。Skeletal System のコースでは、骨の生理学、骨の内分泌、非臨床試験における骨の評価、骨と他のシステムの関係について講演が行われました。どちらのコースも解剖学あるいは生理学の基本的な解説が最初にあり、次に各論に入っていくため、理解しやすい構成となっていました。

教育コースを受講して印象深かったことは、教育コース終了後に、演者に質問をした際の対応についてです。ある実験手技について質問をしたのですが、「私には経験がないが、彼なら知っているかもしれない。」と、そばでディスカッションをしていた研究者に聞いてくれました。その研究者もその手技を実施したことがなかったのですが、次々と経験がありそうな別の研究者に聞いてくれました。教育コースということもあったのかもしれませんが、拙い英語だからとか、女性だからとか、若いからということはなく、他の研究者に対して教育・指導し、ざっくばらんに情報交換できる土壌があることが感じられました。会場の広さもさることながら、老若男女、世界各国の様々な立場の研究者が参加している SOT のスケールを感じることができた出来事でした。

今回 SOT に派遣していただき、学術的な情報収集に加え非常に貴重な経験をすることができました。学会員の皆様にも SOT の教育コース派遣に応募して、刺激を受けるチャンスを得ていただきたいと思います。最後に、このような機会を与えて下さった日本毒性学会教育委員会および事務局の皆様、また、SOT 参加にあたり社内業務のフォローしてくれた関係者の方々に、心よりお礼を申し上げます。

